

2021年度東広島市教育委員会主催・広島大学マスターズ共催市民講座

## 「楽しい入門ドイツ語 II」を終えて

広島大学マスターズ会員 吉田光演

7月予定の「ドイツ語入門 I」は新型コロナ流行防止のため中止となりましたが、「楽しいドイツ語入門 II」（くらら研修室1・2, 10月30日, 11月6日, 13日, 20日, 計4回）は無事実施できました。目標は「発音, 文法初歩を修得しながら簡単な会話を学び, ドイツの街, 歌についても学ぶ」というもので, 「入門 I に引き続いて授業を進める」としていましたが, 「入門 I」が不開講でしたので, 前期の内容で行いました。テキストは『アンファンング-ドイツの街へ』という教科書を使用しました。受講生のほとんどはドイツ語に触れることが初めてでしたが, 中には大学などで学習経験のある方, ドイツに出張等で滞在経験のある方など, 経験者もいましたので, 入門レベルだけでなく, 進んだ内容も提供することを心掛けました。いつかドイツ語圏に旅行したいという方もいると思いましたので, 発音ポイント, 文法の基本, 会話ポイント（挨拶, 自己紹介, 買い物, 食事等）の導入と練習を重点的に行いました。各課がドイツの街を訪れる設定になっており, フランクフルト, ハイデルベルク, フライブルクなどの町がテーマになっていて, たとえば, Frankfurt では Apfelwein（リンゴワイン）や Goethe（文豪ゲーテ）の生家についての話題が出ます。発音会話は感染防止のため, 隣同士での練習はできませんでしたが, 吉田は口の形（母音・ウムラウト等の発音の仕方）を見せるため, フェイスガードを付けて発声し, 受講生に続けて発音してもらって練習しました。これで Guten Tag!（こんにちは）, Auf Wiedersehen!（さようなら）, Wie geht es Ihnen?（お元気ですか?）等の挨拶を含む会話を練習し, ほぼ全員が大きな声を出していました。

受講生は登録者19名（男女比ほぼ同じ）で, 世代は「30・40代2人, 50代5人, 60・70代8人」程度でした（アンケートから）。参加動機は「知識を得るため」, 「生きがいや楽しみのため」, 「他者と交流したいから」, 「学んでみたいと思っていた」といったもので, 受講態度も熱心で質問も毎回寄せられました。受講後の感想は, 「とても満足・満足, 82%」, 「普通, 5%」, 「やや不満, 13%」と概ね好評であり, 「テレビやラジオでは聞けない話が聞けた」, 「発音の再確認ができた」, 「リラックスした雰囲気学べた。」, 「4回は短い。もう少しじっくり学べるとよい」等の意見が出ました。確かに, 4回でドイツ語を修得するのは困難ですが, 新しい外国語を学ぶ良いきっかけになったのではないかと思います。最終回には, ベートーヴェン交響曲第9番「歓喜の歌」の出だしの歌詞” Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium, ...” を全員で朗読して歌って終わりました。